

JPFP 国際人口問題議員懇談会

The Japan Parliamentarians Federation for Population

NEWS LETTER

No.95 June 2020

UNFPA 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）緊急対応 —女性、少女、妊産婦、高齢者 誰一人取り残さないために—

今号は、新型コロナウイルスへの国連人口基金(UNFPA)の取り組みについて、UNFPA東京事務所が発信したニュースレターをご紹介いたします。

日本では新型コロナウイルス感染症(COVID-19)による緊急事態宣言が解除されましたが、世界ではまだまだ予断を許さない状況が続いています。特にアフリカなどの保健システムが脆弱な国々では、COVID-19により甚大な影響が懸念されています。

こうした危機は、女性、少女、妊産婦、高齢者へも深刻な影響を及ぼしています。COVID-19 感染拡大の最中、これらの脆弱な人々を保護するために UNFPA が行っている取組みについて、お知らせします。

以下のウェブサイトにも詳細を記載していますので、是非ご覧ください！

[<UNFPA 東京事務所 COVID-19 特設ページ>](#)

【目次】

- 1 COVID-19 が女性、少女、妊産婦、高齢者にもたらす影響
- 2 UNFPA の COVID-19 への取組み
- 3 ご寄付のお願い

1 COVID-19 が女性、少女、妊産婦、高齢者にもたらす影響

<女性・少女への影響>

UNFPA は、COVID-19 の感染拡大が、女性や少女の健康に深刻な影響をもたらすという予測を発表しました。

●ロックダウンが 6 か月間続き保健サービスに関する深刻な崩壊が起きた場合、114 の低中所得国で 4,700 万人もの女性が近代的な避妊具・薬入手できなくなり、700 万もの望まない妊娠が起こる。

●ロックダウンが少なくとも 6 か月間続いた場合、ジェンダーに基づく暴力が 3,100 万件増加する。

これらの予測は、日本でも朝日新聞や毎日新聞、SankeiBiz などで記事として取り上げられました。

「女性や少女への深刻な影響」の詳細は[こちら](#)

COVID-19 感染拡大とジェンダーに基づく暴力の詳細は[こちら](#)(英語)

<妊産婦への影響>

妊産婦は COVID-19 感染への不安の中で、出産・育児をしなければなりません。さらに、多くの女性が感染への恐れや外出制限のために医療施設に行きにくく、産前産後や出産時に適切なケアを受けにくい状況となっています。

<高齢者への影響>

高齢者は、COVID-19 感染により重症化するリスクが高く、また家族や介護者からネグレクトや暴力を受けたり、孤立するといったリスクが考えられています。

UNFPA は、COVID-19 流行下で高齢者を守るために行っている対策などをまとめたガイダンスを作成し、各国政府によって活用されています。また、UNFPA アジア太平洋地域事務所は 6 月 4 日、日本などアジア各国における COVID-19 に伴う高齢者問題について議論するオンラインセミナーを開催しました。

2 UNFPA の COVID-19 への取組み

UNFPA は、COVID-19 への対応として、保健システムが脆弱な国々を対象に、

- ・個人防護具などの感染予防物資の供与
 - ・ジェンダーに基づく暴力の被害者を守るホットラインやシェルターの設置
 - ・オンラインでの避妊カウンセリング
 - ・高齢者の孤立防止支援
 - ・難民や移民への COVID-19 に関する情報提供などの支援
 - ・COVID-19 流行中に安全にケアを提供するための助産師などへのトレーニング支援
- など、様々なニーズに対応しています。

これらの活動は、「[Coronavirus Disease \(COVID-19\) Pandemic UNFPA Global Response Plan](#)」という戦略計画の3つの優先事項に基づいています。

- ①性と生殖に関する健康サービスや取組みの継続
- ②ジェンダーに基づく暴力や有害な慣習への対策
- ③現代的な避妊具・薬や周産期医療用物資の供給確保

また、WHO などの他の国連機関と協調し一丸となって取り組んでいます。



<事例紹介 ~UNFPA は COVID-19 と最前線で闘うヒーローを支援しています~>

助産師は、COVID-19 流行前から、最前線で新たな命を守っています。しかし、助産師は自らも感染のリスクにさらされており、[イラン](#)では3人の助産師が COVID-19 により命を落としました。

紛争中のイエメンでは、ある妊産婦が COVID-19 流行の最中に 3 つ子を出産しました。出産の喜びとともに、COVID-19 感染が拡大する中で育児をしていくことへの不安も抱えています。特に[イエメン](#)のような紛争国では、紛争と COVID-19 感染への不安を、お母さんが一気に背負っていくことになります。助産師は、このような不安を抱えるお母さんを守っています。

その他にも、様々な国々で COVID-19 の感染に対し“誰一人取り残さないため”的取り組みを続けています。詳しくは、[こちらをご覧ください](#)。

3 ご寄付のお願い

世界の医療従事者の 70%は女性が占めています。女性たちは今、不平等や障壁に苦しみながら、また感染のリスクにさらされながら、最前線で COVID-19 と闘っています。

UNFPA は、COVID-19 流行下で女性の健康と権利を保護するため、活動しています。

しかし、必要な資金はまだ十分に確保できていません。

一般の方からの寄付も受け付けていますので、皆様からのご支援をお待ちしています！

新型コロナウィルス感染拡大 緊急支援 へのご寄付は[こちら](#)

どうぞよろしくお願ひいたします。

国連人口基金東京事務所



バックナンバーはこちらからご覧いただけます ☞ <http://www.apda.jp/topics.html>



国際人口問題議員懇談会（JPFP）事務局
(公財) アジア人口・開発協会 (APDA)
TEL: 03-5405-8844
FAX: 03-5405-8845
E-mail: apda@apda.jp
Website: <http://www.apda.jp>

JPFP 入会をご希望の方は、apda@apda.jpまでご連絡くださいますようお願い申し上げます。

尚、本ニュースレターの配信停止をご希望の方は apda@apda.jpまでお願いいたします。